

令和2年度 放課後等デイサービス評価表(事業者向け) 集計

実施日:令和 3年 2月
公開日:令和3年12月23日

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	意見	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5				●換気・採光・照明、外部からの音の遮断、個のスペースなどに配慮している。 ●広さを児童に合わせ環境設定を行っている。	広い空間を有効活用しながら、児童の障害特性に合った環境設定を行っている。
			100%	0%	0%	0%		
	②	職員の配置数は適切であるか	5				●土曜及び学校休業日はサービス提供時間が長い、有資格者を組み合わせて配置している。●アルバイトや派遣職員を配置している。	学校登校日は1日5～6名の職員・アルバイトを配置している。土曜及び学校休業日についてはそれ以上の職員・アルバイトを配置している。
			100%	0%	0%	0%		
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5				●フラットな造り、身体障害への対応、壁面のクッションはりつけなどしている。 ●施設内の段差はない。	施設内は段差がない造りや男女別車いす用トイレ設置により、車いすを利用している子どもにとっても使いやすい環境となっている。
			100%	0%	0%	0%		
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5				●ミーティングや会議で実施したことに対して振り返り、意見を出し合い、次へ活かせるよう意識して取りこんでいる。	職員が揃っている会議やミーティングにてPDCAサイクルを意識した業務改善を随時おこなっている。
			100%	0%	0%	0%		
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5				●保護者の意見を受け止め、改善できるよう努力している。	評価表や保護者の意見をもとに業務改善を随時実施している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5				●ホームページで公表し、現在利用中の方へは印刷して配布している。	法人ホームページにて公開すると共に、結果報告として配布している。
		100%	0%	0%	0%			
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2		3		●今年度未受審である。	外部評価受診を検討していく。
			40%	0%	60%	0%		
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5				●1人につき年に1回以上、必ず外部の研修に行くようにしている。	専門技術研修は計画に基づいて、1人につき年に1回以上は必ず受講している。また、法人内で虐待防止、接遇マナー、防災、ハラスメント研修を実施している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5					最低6か月に一度はモニタリングをおこない、目標の達成度や課題を共有して作成している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑩	子どもの適応行動の状況を把握を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5					法人内で共有しているアセスメントツールを使用し、個々の児童の特性や状況を判断して作成している。
			100%	0%	0%	0%		
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5				●季節を取り入れた活動など、職員間で相談し立案している。	日々のミーティングで出た案や課題を運営会議で全職員で共有して立案している。
			100%	0%	0%	0%		

⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	1			●季節の物を取り入れながら、その日の利用児の顔ぶれを見て、工夫し提供している。 ●職員の得意分野を取り入れながら工夫している。	子どもの人数や顔ぶれ、また季節や担当者の個性を生かしながら取り組んでいる。
		80%	20%	0%	0%		
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5				●平日・土曜日は、日々のミーティングにて、長期休暇については始まる前に課題を抽出し1日の流れを組んでいる。●1日利用する日の日課は、平日以上にメリハリをつける。長期休暇は日々、期間を通しての課題を設定している。	日々のミーティングや会議等で、支援内容や活動についての課題を共有、検討して支援している。個別活動や集団活動を組み合わせ、メリハリのある1日を設定し、日々心の充実を目指している。
		100%	0%	0%	0%		
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5					個別活動はもちろん、集団活動の中で他者との協働による喜びを感じられるように計画を作成している。
		100%	0%	0%	0%		
⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5					毎サービスごとに打合せをしているが、利用時間の長さから十分に打合せができない場合があるため、業務日誌の活用やあらかじめ定めてある必要事項の確認を行い、必要な情報の共有に努めている。
		100%	0%	0%	0%		
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5				●1日利用の時などの長期休暇は、業務日誌を活用し、情報が共有できるように努力している。	毎サービスごとに打合せをしているが、利用時間の長さから十分に打合せができない場合があるため、業務日誌の活用やあらかじめ定めてある必要事項の確認を行い、必要な情報の共有に努めている。
		100%	0%	0%	0%		
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5					個別支援計画に沿った記録、正しい記録の取り方について徹底し、支援の検証・改善につなげている。
		100%	0%	0%	0%		
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5					最低6か月に一度はモニタリングをおこなっている。子どもの体調や環境などに変化があり必要な場合は、6か月を待たずに計画を変更することもある。
		100%	0%	0%	0%		
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5					児童の障害特性に合わせて複数の活動を組み合わせ支援をおこなっている。
		100%	0%	0%	0%		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	4	1			●職員間で情報共有し、会議に参加することで全職員が対応できるようにしていく。	児童発達支援管理責任者が事前に職員から情報収集をおこなった上で参加している。全職員が統一した支援をおこなうことで、利用児に安定した支援を提供している。
		80%	20%	0%	0%		
㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	3	1	2		●学校ごとに考え方が異なるため、一人ひとりの支援について、十分に話し合えない場合もある。家族との連携を通して、カバーしている。	学校から情報を得る場合には、事前に保護者からの了解を得て必要事項の共有を積極的におこなっている。
		50%	17%	33%	0%		
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	1	1	2	1	●医療的ケアが必要な児童については受け入れていない。 ●受け入れる運営を行う場合は主治医等との連絡体制を強化すると共に、職員の資格・知識を充実させていきたい。	現在、利用対象となっていない。相談があった際には、相談窓口を紹介する。
		20%	20%	40%	20%		
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5				●事前に保護者に確認を取り、保育園や幼稚園、こども園などでの様子を見学または、担当の先生から情報を共有をしている。	小学校入学と同時に利用の場合は事前に保護者からの了解を得た上で、保育所や幼稚園等での様子を見学したり、情報共有するよう努めている。
		100%	0%	0%	0%		

②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1			●個人情報のため、事前に保護者の確認をとり、了解を得てから、提供している。	移行先の事業所や相談支援事業所より求められた場合、必要な情報を保護者の了解を得てから提供している。
		80%	20%	0%	0%		
②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1			●研修案内を定期的に送っていただき参加している。 ●専門機関の研修等に参加しているが、全職員が、より多くの学習機会を持てるようにしたい。	当該機関と定期的に情報共有をおこない、助言を受けている。
		80%	20%	0%	0%		
②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	1	3		●感染症が落ち着いたら、取り組みたい。 ●近隣の公園に散歩に出かけた際に、交流している。	日々の活動の中で、可能な限り交流を図っていく。
		20%	20%	60%	0%		
②⑦	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	3			●法人の担当者が参加し、会議を通じて全職員に周知されている。	法人から代表者が協議会の相談支援・就労支援・くらしの部会に各々参加している。
		40%	60%	0%	0%		
②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5					連絡帳での情報共有を基本に、必要に応じて電話や面談を実施して保護者と共通認識を持って児童の支援をおこなえるよう努めている。
		100%	0%	0%	0%		
②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	2			●保護者の気持ちに寄り添えることは常日頃から大事にしている。	保護者が家庭での療育に自信を持てるよう必要な助言をおこなうとともに、保護者が気持ちを発することができるよう心掛けている。
		60%	40%	0%	0%		
③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5					契約書・重要事項説明書に沿って説明をおこない、同意を得ている。
		100%	0%	0%	0%		
③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5					保護者から要請があった場合には、随時対応している。
		100%	0%	0%	0%		
③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	3				保護者会は年に1回定期開催している。
		40%	60%	0%	0%		
③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5					法人内の苦情対応窓口、区の窓口、東京都の相談窓口を周知している。苦情については報告を速やかに行い、早急に子ども、保護者からの話を聞き、説明などを行うとともに、改善に向けた取り組みを迅速に行っている。
		100%	0%	0%	0%		
③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子供や保護者に対して発信しているか	5					機関紙「ぱすてる」を年4回発行の他、必要に応じてお知らせを発行している。
		100%	0%	0%	0%		
③⑮	個人情報に十分注意しているか	5					書類関係は鍵付き書庫や金庫に収納している。会話の中では個人情報に触れる際は周囲に聞こえないように、配布する際は2重チェックするなど注意している。また、定期的に未然防止チェックリストに取り組んでいる。
		100%	0%	0%	0%		

③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5					分かりやすい言葉や、絵カードやジェスチャーなど、障害特性や発達段階に応じて使い分け、1日の予定も可視化して伝えられるようにしている。
		100%	0%	0%	0%		
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	2	2		●次年度の事業所目標の一つにしている。 ●施設内での交流や、地域行事への参加など 開かれた施設を検討したい。	町会の祭りへの参加や近隣の公園への外出など活動に組み入れているが、更に地域に開かれた運営に向けて検討していく。
		20%	40%	40%	0%		
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	1			●現在、防犯マニュアルについては作成中である。でき次第、周知していく。	防犯マニュアルを策定中のため、出来次第周知・徹底していく。また、さすまた研修実施済みの他、毎月区の事業で「子どもの安全」巡回パトロール(青パト)が見回りに来ている。
		80%	20%	0%	0%		
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5					避難訓練を年に2回実施している。また、消防の指導の下、同建物内の他事業所との避難訓練も行っている。
		100%	0%	0%	0%		
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	5					法人内で虐待防止のための委員会があり、研修など法人全体で虐待防止に向けた取り組みをおこなっている。
		100%	0%	0%	0%		
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4		1		●法人として身体拘束は禁止している。	法人として身体拘束を禁止している。「はい」と回答した者は身体拘束の禁止が法人として掲げられている点を捉え「はい」と回答、「いいえ」に回答した者は身体拘束を支援上の手段として用いていないという点を捉えて「いいえ」と回答した為、回答に乖離が生じた。
		80%	0%	20%	0%		
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5					アレルギーによる特別な対応がクラブ内で必要な場合は保護者からのヒヤリングと医師の指示に基づいて対応する。
		100%	0%	0%	0%		
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	1	1		●日誌に項目を作り、共有するようにしている。 ●職員間で共有し、改善方法を話し合っている。	事例記録用紙に記入し、随時見直している。また、業務日誌のインシデント報告欄に記入、情報を共有している。
		60%	20%	20%	0%		

非常時等の対応